

温暖化による高地湿原生態系変遷の将来予測

2018年1月19日 (金)

[北海道大学・低温科学研究所 研究棟2階会議室]

- 9 : 30- 9 : 35 所長挨拶
江淵直人 (北海道大学・低温科学研究所)
- 9 : 35- 9 : 40 「集会にあたって」
野原精一 (国立環境研究所)
- 9 : 40-10 : 10 「サロベツ湿原と美唄湿原における温室効果気体フラックスの観測研究」
平野高司 (北海道大学)・植山雅仁・二口雄介 (大阪府立大学)
・矢崎友嗣 (明治大学)・小南靖弘 (北海道農業研究センター)
- 10 : 10-10 : 40 「第4次尾瀬総合学術調査における植物インベントリー調査」
大森威宏 (群馬県立自然史博物館)
- 10 : 40-11 : 30 「温暖化による高地湿原生態系変遷の将来予測：尾瀬ヶ原の地形と水文に関する予備的研究」岩熊敏夫 (北海道大学・函館高専名誉教授)
- 11 : 30-12 : 00 「尾瀬ヶ原の湿原地形と陸水環境の変遷に関する研究」
野原精一 (国立環境研究所)
- 12 : 00-13 : 00 休憩
- 13 : 00-13 : 30 「UAVを使った湿原調査と解析技術」
小玉哲大 (株)フォテク)
- 13 : 30-14 : 00 「汎用小型ドローンによる簡易的自動撮影の実際および撮影画像の検証」
藤原英史 (株)ドキュメンタリーチャンネル)
- 14 : 00-14 : 30 「合成開口レーダーによる尾瀬ヶ原の長期観測とドローンによる現地観測」
久田泰広・平山竜也・小川佳子・出村英裕 (会津大学)
- 14 : 30-15 : 00 「合成開口レーダーによる湿原の水環境評価：冬季における水の浸潤条件」
小川 佳子・松本和也・久田泰広・出村裕英 (会津大学)
- 15 : 00-15 : 10 休憩
- 15 : 10-15 : 40 「池塘の浮葉植物群落被度、濁度、底泥の関係」
永坂正夫 (金沢星稜大学)・福原晴夫 (河北潟湖沼研究所)
- 15 : 40-16 : 10 「尾瀬で採集された氷雪性緑藻類」松崎令 (国立環境研究所)
- 16 : 10-16 : 40 「氷河遺存種と温暖化」 福原晴夫 (河北潟湖沼研究所)
- 16 : 40-17 : 10 「釧路湿原への人為的影響緩和と自然共生型社会実現のための土地利用の検討」 亀山哲 (国立環境研究所)
- 17 : 10-17 : 30 「総合討論」 岩熊敏夫 (北海道大学・函館高専名誉教授)